

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

君津共同火力株式会社（証券コード：-）

【新規】

長期発行体格付
格付の見通し

AA-
安定的

■格付事由

- 日本製鉄と JERA の折半出資会社。日本製鉄の東日本製鉄所君津地区内に位置する。発電設備は 3～6 号機の 4 基であり、いずれも高炉やコークス炉から発生する副生ガスを主な燃料としている。また、3, 4 号機は補助燃料として石炭も使用している。発電した電力は日本製鉄および東京電力エナジーパートナーに供給されている。
- 両株主のうち特に日本製鉄との結びつきが強いことから、格付には同社の信用力を織り込んでいる。代表取締役社長をはじめ日本製鉄から役職員が派遣されているほか、製鉄所の生産と一体で事業が行われており、同社からの支配・関与度が相応に認められる。当社の発電設備は日本製鉄の主力生産拠点の一つである東日本製鉄所君津地区の一部となっている。副生ガスの回収および電力の供給は製鉄所の操業にあたって不可欠であり、グループにおける経営的重要度が極めて高い。以上を踏まえ、格付を「AA-」、見通しを安定的とした。
- 利益水準は低いものの、長年にわたって黒字を確保できている。発電コストに見合った電力価格が設定されており、燃料の高騰で変動費が増加する局面でもタイムリーな電力料金の改定によって採算を維持できている。こうした収益構造を背景に、今後も業績が底割れする懸念は小さい。
- 温室効果ガス排出量削減に向けて日本製鉄の製鉄プロセスは将来的に変化していく見通しである。これに伴って副生ガスも従来とは異なった性質になると考えられる。ただ、必要な技術や設備について日本製鉄と共同で研究を行っており、適切な対策が実施されていくと JCR はみている。
- 政府は非効率な石炭火力発電のフェードアウトを進めている。当社の発電設備は副生ガスを燃料とすることで基準を上回る発電効率を実現しており、短期的にフェードアウトの対象となるリスクは低いとみられる。とはいえ、脱炭素化に向けた対応は継続的に求められると想定されることから、バイオマス燃料の活用などの取り組みおよびその成果を確認していく。
- 23/3 期経常利益は 64 百万円（前期比 5.1%増）とおおむね前期並みの水準となった。コスト変動に応じた電力料金の改定により 24/3 期以降も現状程度の利益を維持可能と考えられる。23/3 期末の自己資本比率は 12.8%と低位にある。一方、安定したキャッシュフロー創出力を有しており、債務償還に特段の懸念はない。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

■格付対象

発行体：君津共同火力株式会社

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年12月8日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「電力」(2023年6月1日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 君津共同火力株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与に係る手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル